

# 第76回京都府高等学校陸上競技対校選手権大会 兼 第76回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 京都府予選会 要項 ＜ 京 都 I . H ＞

1. 主催 京都府高等学校体育連盟・京都陸上競技協会
2. 後援 京都府教育委員会
3. 期日 令和5年6月2日（金）・3日（土）・4日（日）
4. 場所 たけびスタジアム京都・東寺ハウジングフィールド西京極
5. 種目 **【男子の部】**（21種目）  
100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 110mH 400mH 3000mSC 5000mW 4×100mR 4×400mR  
走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投 円盤投 ハンマー投 やり投 8種競技  
**【女子の部】**（20種目）  
100m 200m 400m 800m 1500m 3000m 100mH 400mH 5000mW 4×100mR 4×400mR  
走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投 円盤投 ハンマー投 やり投 7種競技
6. 出場制限 （全国高等学校定時制通信制大会出場者の参加は認められない）
  - (1) 1種目1校3名以内、リレーは1校1チーム4～6名として、1人3種目以内（ただし、リレーは除く）。
  - (2) 地区予選会への参加は、各種目とも都道府県予選会上位6名までの入賞者とする。  
ただし、競歩種目は上位5名まで、混成競技・女子（棒高跳・三段跳・ハンマー投）は上位4名までの入賞者とする。
  - (3) 年齢は本年4月2日を起算とし、19歳未満の者とする。  
ただし、同一学年での出場は1回（1年度）限りとする。
  - (4) 市内ブロック者の出場参加資格
    - ① 市内ブロック予選会において、それぞれの種目で30位以内の者と30位と同記録の者。
    - ② 昨年度（令和4年度）京都高校30傑のうち、3年生と両丹の選手を除く、上位5位までの者。
    - ③ 「第58回京都府高等学校春季陸上競技大会」において、それぞれの種目で6位以内の者。  
※上記①②③のそれぞれについてはその種目に限る。  
※上記②において同校の者が4名以上入っている場合、該当者すべてに権利がある。
  - (5) 両丹ブロック者の出場参加資格  
両丹I.H要項の出場制限に記載のとおりとする。
  - (6) 混成競技は、令和5年4月1日以降標準記録を2種目以上突破していること。  
エントリー時、申込一覧表に突破種目・記録・大会名・日時を自筆で記入すること。
7. 出場資格 (1) 令和5年度京都府高等学校体育連盟（陸上競技）登記登録者に限る。  
(2) 未登録者は出場できない（登録を完了し、必ず正式登録番号を記載し申し込むこと）。
8. 競技方法 (1) 学校対校とする。  
(2) 種目得点は1位8点・2位7点・3位6点・4位5点・5位4点・6位3点・7位2点・8位1点とする。  
(3) 男女別の合計得点によって学校順位を決定する。
9. 表彰 (1) 男子総合優勝校に塚本篤之助氏杯を、女子総合優勝校に大谷裏方杯を授与する。（前年度総合優勝校にはレプリカを授与する）  
(2) 男子優秀選手に藤原弘道氏杯を、女子優秀選手に辻本一郎氏杯を授与する。  
(3) 種目別優勝杯
 

<b>【男子の部】</b>	100m	行待氏杯	200m	平野氏杯	400m	木村氏杯	800m	谷口氏杯
	1500m	芝田氏杯	5000m	野田氏杯	110mH	川野氏杯	400mH	塩尻氏杯
	3000mSC	梅原氏杯	5000mW	前田氏杯	4×100mR	田淵氏杯	4×400mR	高木氏杯
	走高跳	朝隈氏杯	棒高跳	西山氏杯	走幅跳	徳廣氏杯	三段跳	筒井氏杯
	砲丸投	中坂氏杯	円盤投	池永氏杯	ハンマー投	澤田氏杯	やり投	安田氏杯
	8種競技	吉田氏杯	優勝校部長	田中氏杯				
<b>【女子の部】</b>	100m	平岡氏杯	200m	関本氏杯	400m	城氏杯	800m	片岡氏杯
	1500m	小山氏杯	3000m	長澤氏杯	100mH	大澤氏杯	400mH	山村氏杯
	5000mW	榊岡氏杯	4×100mR	小池氏杯	4×400mR	花田氏杯	走高跳	能勢氏杯

棒高跳 細見氏杯 走幅跳 森氏杯 三段跳 杉岡氏杯 砲丸投 柴田氏杯  
円盤投 能勢氏杯 ハンマー投 田中氏杯 やり投 高橋氏杯 7種競技 原田氏杯  
優勝校部長 阿部氏杯

- (4) 団体男女とも総合得点順位6位、トラック競技3位、フィールド競技3位まで表彰する。
- (5) 個人種目は3位まで賞品、6位までに賞状を授与する。

- 10. 参加料 1人1種目 500円 リレー1チーム 1200円 混成競技 2000円
- 11. 申込期限 エントリー入力期間は5月6日～5月18日まで。申込書類一式(校長印要)は5月19日(金)までに必着(厳守)。手渡しの場合は5月20日(高校総体初日)まで認める。なお、両丹ブロックに関しては5月19日までに送付(必着)するか、5月20日に両丹委員長に手渡しをすること。
- 12. 申込場所 ☎ 610-0117 城陽市枇杷庄京縄手46-1 京都府立西城陽高等学校内 金見 紀宜(宛)  
☎:0774-53-5455
- 13. その他
  - (1) プログラムは1人1冊責任購入する(学校には1冊を無料配布)。
  - (2) 開会式は6月2日(金) 9:00 に行う。
  - (3) 各賜杯は6月2日(金) 8:45 までに大会本部に返還のこと。
  - (4) 競技時間と組み合わせはアスリートランキング.comで公開する。(尚、競技ダイヤは昨年と同様とするが、出場人数などにより競技時間は若干の変更はある。)
  - (5) 全天候舗装のため、スパイクのピンは規定されたものを使用すること。また、靴底の厚さについてもシューズ規定に則したものを使用すること。
  - (6) 競技場の中に商品名・商社名のついた衣類・バック類を持ち込む場合は、日本陸上競技連盟規則に従うこと。また、携帯電話等の通信機器の持ち込みは禁止する。
  - (7) リレーのオーダー用紙は、大会初日の受付時に配布する。

「申し込みをする競技者はインターネット上、及び他のマスメディアにおいて、氏名・年齢・所属・申込種目・競技結果が公表される可能性があることをご承知ください」

# 競 技 日 程

## 第 1 日 [ 6 月 3 日 ( 土 ) ]

### [トラック競技]

開始時刻	種別	種目	予 準 決	人 数	組一着 +α	招集時刻		
						組	開始	完了
10:00	男	⑧100m		21		1~3	9:30	9:40
10:15	女	1500m	予	33	3-4+3	1~3	9:45	9:55
10:35	男	1500m	予	44	3-4+3	1~3	10:05	10:15
10:55	女	400m	予	31	4-5+4	1~4	10:25	10:35
11:10	男	400m	予	38	5-4+4	1~5	10:40	10:50
11:35	女	100mH	予	39	5-4+4	1~5	11:05	11:15
11:50	男	110mH	予	37	5-4+4	1~5	11:20	11:30
12:15	男	3000mSC	予	37	2-6+3	1	11:45	11:55
12:30						2	12:00	12:10
12:55	女	100mH	準	24	3-2+2	1~3	12:30	12:40
13:10	男	110mH	準	24	3-2+2	1~3	12:45	12:55
13:30	女	400m	準	24	3-2+2	1~3	13:05	13:15
13:50	男	400m	準	24	3-2+2	1~3	13:25	13:35
14:10	女	4×100mR	予	37	5-4+4	1~3	13:40	13:50
14:25						4~5	13:55	14:05
14:40	男	4×100mR	予	47	6-3+6	1~3	14:10	14:20
14:55						4~6	14:25	14:35
15:10	女	1500m	決	15		1	14:45	14:55
15:20	男	1500m	決	15		1	14:55	15:05
15:30	女	100mH	決	8		1	15:05	15:15
15:40	男	110mH	決	8		1	15:15	15:25
15:50	女	400m	決	8		1	15:25	15:35
15:55	男	400m	決	8		1	15:30	15:40
16:10	男	⑧400m		21		1~3		15:55
16:25	女	4×100mR	準	24	3-2+2	1~3	16:00	16:10
16:45	男	4×100mR	準	24	3-2+2	1~3	16:20	16:30

### [跳躍競技]

開始時刻	種別	種目	予 決	人 数	場 所	招集時刻	
						開始	完了
10:00	男	走幅跳	予	21	ホームA	9:10	9:20
				20	ホームB		
10:00	女	走高跳	決	33	Bゾーン	9:10	9:20
11:50	男	⑧走幅跳		21	ホーム		11:20
13:30	男	棒高跳	決	19	バック	12:00	12:10
13:40	男	走幅跳	決		ホーム	12:50	13:00

### [投てき競技]

開始時刻	種別	種目	予 決	人 数	場 所	招集時刻	
						開始	完了
11:00	男	砲丸投	決	37	Aゾーン	10:10	10:20
13:00	女	ハンマー投	決	11	Aゾーン	12:10	12:20
14:30	男	⑧砲丸投		21	Aゾーン		14:00
15:00	女	やり投	決	27	Aゾーン	14:10	14:20

## 第2日 [6月4日(日)]

### [トラック競技]

開始時刻	種別	種目	予 準 決	人 数	組一着 +α	招集時刻		
						組	開始	完了
9:30	女	⑦100mH		14		1~2	9:00	9:10
9:40	男	⑧110mH		21		1~3	9:10	9:20
10:00	女	200m	予	36	4-5+4	1~4	9:30	9:40
10:15	男	200m	予	44	5-4+4	1~5	9:45	9:55
10:35	女	400mH	予	33	4-5+4	1~4	10:05	10:15
10:55	男	400mH	予	40	5-4+4	1~5	10:25	10:35
11:25	女	200m	準	24	3-2+2	1~3	11:00	11:10
11:40	男	200m	準	24	3-2+2	1~3	11:15	11:25
12:00	男	3000mSC	決	15		1	11:35	11:45
12:25	女	400mH	準	24	3-2+2	1~3	12:00	12:10
12:40	男	400mH	準	24	3-2+2	1~3	12:15	12:25
13:00	女	200m	決	8		1	12:35	12:45
13:10	男	200m	決	8		1	12:45	12:55
13:20	女	800m	予	40	5-4+4	1~3	12:50	13:00
13:35						4~5	13:05	13:15
13:55	男	800m	予	44	5-4+4	1~3	13:25	13:35
14:10						4~5	13:40	13:50
14:30	女	4×100mR	決	8		1	14:05	14:15
14:40	男	4×100mR	決	8		1	14:15	14:25
14:50	女	400mH	決	8		1	14:25	14:35
15:00	男	400mH	決	8		1	14:35	14:45
15:20	女	4×400mR	予	33	4-5+4	1~2	14:50	15:00
15:35						3~4	15:05	15:15
15:50	男	4×400mR	予	46	6-3+6	1~3	15:20	15:30
16:20						4~6	15:50	16:00
16:50	女	⑦200m		14		2		16:35
17:00	男	⑧1500m		21		1		16:45

競技終了予定 17:10

### [跳躍競技]

開始時刻	種別	種目	予 決	人 数	場所	招集時刻	
						開始	完了
9:30	女	走幅跳	予	20	ホームA	8:40	8:50
				19	ホームB		
9:30	男	走高跳	決	31	Bゾーン	8:40	8:50
11:00	女	棒高跳	決	20	バック	9:30	9:40
12:30	女	⑦走高跳		14	Bゾーン		12:00
13:00	女	走幅跳	決		ホーム	12:10	12:20
14:30	男	⑧走高跳		21	Bゾーン		14:00

### [投てき競技]

開始時刻	種別	種目	予 決	人 数	場所	招集時刻	
						開始	完了
10:00	男	ハンマー投	決	18	Aゾーン	9:10	9:20
11:30	男	⑧やり投		21	Aゾーン		11:00
13:00	男	やり投	決	35	Aゾーン	12:10	12:20
14:15	女	⑦砲丸投		14	Aゾーン		13:45
15:15	女	円盤投	決	25	Aゾーン	14:25	14:35

### 第3日 [6月5日(月)]

#### [トラック競技]

開始時刻	種別	種目	予 準 決	人 数	組一着 +α	招集時刻		
						組	開始	完了
9:30	女	100m	予	40	5-4+4	1~5	9:00	9:10
9:45	男	100m	予	48	6-3+6	1~6	9:15	9:25
10:15	女	800m	準	24	3-2+2	1~3	9:50	10:00
10:35	男	800m	準	24	3-2+2	1~3	10:10	10:20
10:55	男	5000m	決	37	*	1	10:30	10:40
11:20	女	4×400mR	準	24	3-2+2	1~3	10:55	11:05
11:40	男	4×400mR	準	24	3-2+2	1~3	11:15	11:25
12:00	女	3000m	決	35	*	1	11:35	11:45
12:30	女	100m	準	24	3-2+2	1~3	12:05	12:15
12:55	男	100m	準	24	3-2+2	1~3	12:30	12:40
13:15	女	800m	決	8		1	12:50	13:00
13:25	男	800m	決	8		1	13:00	13:10
13:35	男	5000mW	決	16		1	13:10	13:20
14:15	女	100m	決	8		1	13:50	14:00
14:25	男	100m	決	8		1	14:00	14:10
14:35	女	⑦800m		14		2		14:20
14:55	女	5000mW	決	12		1	14:30	14:40
15:35	女	4×400mR	決	8		1	15:10	15:20
15:55	男	4×400mR	決	8		1	15:30	15:40

\*はグループスタートを示す

#### [跳躍競技]

開始時刻	種別	種目	予 決	人 数	場 所	招集時刻	
						開始	完了
9:30	女	⑦走幅跳		14	バック	8:40	8:50
9:30	男	三段跳	予	21	ホームA	8:40	8:50
				20	ホームB		
11:15	女	三段跳	決	14	ホームA	10:25	10:35
				14	ホームB		
13:45	男	三段跳	決		ホーム	12:55	13:05

#### [投てき競技]

開始時刻	種別	種目	予 決	人 数	場 所	招集時刻	
						開始	完了
10:00	男	円盤投	決	25	Aゾーン	9:10	9:20
12:30	女	⑦やり投		14	Aゾーン		12:00
13:30	女	砲丸投	決	24	Aゾーン	12:40	12:50

競技終了予定 16:00

# 競 技 注 意 事 項

## 1. 競技規則について

- (1) 本大会に適用する規則は、2023 年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会規定である。
- (2) WAの競技規則 TR6 の改正と新たに「競技用靴に関する規程」が導入されたことに基づき、靴底の厚さのチェックは実施しない。ただし、審判長および競技役員はいつでもシューズチェックをすることができ競技者はその指示に従わなければならない。明らかな規則・規程違反のシューズや疑わしいシューズはチェックや回収の対象になることがある。競技後にシューズの違反が認められた場合は、審判長が「失格」と判断し、記録が取り消される場合がある。【競技用靴・靴底の厚さに関する規定(TR5. 2)】

競技用靴・靴底厚さ表

種 目	靴底最大の厚さ	要件・備考
フィールド種目(除:三段跳)	20mm	全投てき種目と三段跳を除く跳躍種目に適用する。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (800m 未満の種目、ハードル種目を 含む)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (800m 以上の種目、障害物競走を含 む)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは 40mm。
競技場内で行う競歩	40mm	

\*ただし、踵より前底部の靴底が厚いフィールド競技用シューズについては競技規則TR5. 2を適用除外とする。

\*その他詳細、WA承認靴リストについては、日本陸連ホームページを参照すること。

## (3) イエローカード (以下、YC) について

- ①WA競技規則CR18.5 の規定により、TR 6、16. 5、17. 14、17. 15. 4、25. 5、25. 19、に違反があった競技者やリレーチームにYCを提示し警告を与える。この場合他の種目との合算は無く、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。
- ②同一種目で2回のYCの提示を受けた競技者は、当該種目を失格とする。ただし、それ以後の他の種目の出場は可能である。YCを提示の累積は、当該種目のみに適用する。

## 2. 招集について

(1) 招集所は、メインスタンド下の雨天走路に設ける。

### (2) 手順

- ①招集開始時刻に競技者係の点呼を受ける。トラック種目出場者は、腰ナンバーを右腰のやや後方につけておくこと。招集時には、アスリートビブス (各自の登録番号) とスパイク・シューズの確認を受ける。競歩競技においては別アスリートビブスを使用することがあるが、その際は、招集時に自分のアスリートビブスを競技者係に示し、別アスリートビブスを受け取ること。
- ②点呼の代理は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、第1種目の招集開始時刻までに本人が京都府高体連陸上競技専門部HP上にある「2種目同時出場届」に必要事項を記入し、競技者係に提出すること。提出後は第1種目の招集時にその旨を競技者係に告げ、招集を受けることができない種目の点呼 (アスリートビブス・腰ナンバー・シューズ) を同時に受けておくこと。その場合に限り、招集時刻の点呼に代理人を認める。また、競技については本人がフィールド審判に申し出て、トラックの方を先に行うこと。

(3) 招集完了時刻に遅れた競技者は出場する意志がないものとみなし処理する。

(4) 招集完了時刻は下記の通りとする。なお、種目別の招集開始時刻・完了時刻については、プログラムの競技日程欄に記載されている。

種目	予選		準決勝		決勝	
	開始時刻	完了時刻	開始時刻	完了時刻	開始時刻	完了時刻
トラック	30 分前	20 分前	25 分前	15 分前	25 分前	15 分前
フィールド	50 分前	40 分前			50 分前	40 分前
棒高跳					90 分前	80 分前

(5) リレー種目

①リレー種目のオーダー用紙は、受付時に手渡す。リレーメンバー以外から起用する場合は、必要事項を忘れずに記入すること。オーダー用紙は、第1組の招集完了時刻の60分前までに競技者係（招集所）に提出すること。提出がない場合は、出場する意志がないものとみなし処理する。（準決勝以降のオーダー用紙の配布は総務席で行う。）

②出場メンバー全員が点呼を受けること。ただし、他種目に出場している場合は、上記(2)の②に準ずる。

③オーダー用紙提出後の選手変更は認めない。ただし、怪我等の急なアクシデントにより、メンバーの出場ができない場合のみ、本部が指定した医務員の判断によって、変更が認められることがある。

(6) やむなく欠場する場合は、招集開始時刻までに京都府高体連陸上競技専門部HP上にある「欠場届」に必要事項を記入し、競技者係に提出すること。

(7) 混成競技

①第1日目、第2日目ともに第1種目については招集所で競技者係の点呼を受ける。第1日目、第2日目ともに2種目以降については、現地で混成競技係の点呼を受ける。ただし、最終種目については招集所で競技者係の点呼を受ける。

②招集時刻については、プログラムの競技日程欄に記載されている通りである。（第2種目目以降、現地での点呼は、完了時刻をトラック15分前、フィールド30分前とする。）

### 3. 競技進行について

(1) 番組編成およびラウンドの通過について

①トラック競技のレーン順、およびフィールド競技の試技順は、全てプログラム記載のとおりとする。準決勝以降の組み合わせはすべて番組編成員が行い、記録掲示板と招集所で発表する。

②トラック競技において、次のラウンドへの出場者を決める時、その最下位で同タイム者(1/100秒)が出た場合は、写真を拡大して精査し優劣の判定をする。レーンに余裕がある場合に限り同タイム(1/1000秒単位)の選手の進出を認める。レーンに余裕がない場合は本人または代理人による抽選を行う。ただし、800mとオープン・レーンを使用する種目は、同タイム(1/1000秒単位)の競技者は全員次のラウンドに進める。

(2) 競技について

①スパイク及びシューズについては規定に適合すること。スパイクのピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投については12mm以内とする。いずれの場合も本数は11本以内とする。

②アスリートビブスは指定された大きさとユニフォームの胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技に出場する選手は、胸部または背部だけでよい。

③混成競技の最終種目では、男子は第7種目、女子は第6種目終了時点の合計得点による順位をあらわす別ナンバーを胸につけて競技を行う。背は競技者個人のアスリートビブスで、腰はレーンナンバーとする。

④男子5000m、女子3000mはグループスタートで行う。

⑤トラック競技の短距離種目では、競技者の安全確保のためフィニッシュ後も自分のレーン（曲走路）を走ること。

⑥フィールド競技において、コーチの競技者に対する助言が競技の進行を妨げないようにするため、近接の観客席等に「コーチ席」を設けるので、競技者への助言はすべてコーチ席で行うこと。

⑦競技区域内（招集所内含む）に携帯電話・スマートフォン・タブレット等のデバイス機器を持ち込むことはできない。また、競技区域内で助力を与えたり受けたりしている競技者は、失格の対象となる。なお、フィールド競技に出場している競技者が、それ以前の試技の映像をコーチ席以外の場所で見ると、録画再生機器等をスタンドからの手渡しや吊り下げにより競技区域に持ち込むことは認めない。

⑧競技場内での練習は、競技役員（指導員）の指示に従うこと。

⑨招集所からスタート地点、跳躍場、投てき場へ行く場合、競技者係の指示に従うこと。

⑩リレー競技に出場するチームは、同一ユニフォームで参加しなければならない。（形状を統一する必要はないが、デザイン・配色は統一すること。）

⑪競技運営上の理由により、以下の種目において下記のタイムを超えて周回を残している場合は、フィニッシュ地点で競技を中止させることがある。その際、審判長により競技を打ち切る。

男子 5000m 競歩；30 分 00 秒、女子 5000m 競歩；35 分 00 秒

(3) 跳躍種目の予選通過標準記録は、下記の通りとする。

種目	走幅跳	三段跳	三段跳の踏切板の砂場からの距離
男子	6 m 6 0 c m	1 3 m 5 5 c m	男子 予選：1 1 m 決勝：1 3 m
女子	5 m 2 0 c m		女子 決勝：1 0 m

\*予選が実施されるフィールド競技において、予選通過標準記録を超えた競技者が 12 名に満たなかった場合は、上位 12 名まで決勝に進出させる。なお、12 番目に同じ記録の競技者がいた場合は、同記録となった競技者の 2 番目の記録で順位を決める。それでも決められない時は 3 番目の記録で決める。3 番目の記録でも決まらない時は、複数名が決勝に進出できる。

(4) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。（ ）内は公式練習の高さである。

男子走高跳	決勝	(165) 170 175 180 185 188 191 (188) ( ) 選手の実力に応じて追加することがある	以後 3 cm ずつ上げる
女子走高跳	決勝	(140) 145 150 153 156 159 162 (155) ( ) 選手の実力に応じて追加することがある	以後 3 cm ずつ上げる
男子棒高跳	決勝	(330) 340 350 360 370 ~480 10cm ずつ上げる、480~ (410) ( ) 選手の実力に応じて追加することがある	以後 5 cm ずつ上げる
女子棒高跳	決勝	(180) 200 220 240 250 ~360 10cm ずつ上げる、360~ (250) ( ) 選手の実力に応じて追加することがある	以後 5 cm ずつ上げる
八種競技走高跳		140 145 150 155 160 163 166 公式練習の高さ及び開始する高さについては、審判長判断により変更することがある	以後 3 cm ずつ上げる
七種競技走高跳		120 125 130 135 140 143 146 公式練習の高さ及び開始する高さについては、審判長判断により変更することがある	以後 3 cm ずつ上げる

\*同記録による 1 位決定と近畿大会出場権決定のバーの上げ下げは、走高跳 2 cm、棒高跳 5 cm とする。

\*開始するバーの高さは荒天時などの場合、危険回避のために審判長判断で変更することがある。

(5) フィールド競技の試技時間は次のとおりである。

【単独種目】

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4 人以上*	1 分	1 分	1 分
2~3 人	1 分 30 秒	2 分	1 分
1 人	3 分	5 分	—
連続試技**	2 分	3 分	2 分



#### 【混成競技】

残っている競技者数	走高跳	その他
4人以上*	1分	1分
2～3人	1分30秒	1分
1人	2分	—
連続試技**	2分	2分

\* 4人以上または各競技者の最初の試技

\*\*単独種目・混成競技ともに、残っている競技者数に関係なく適用し 走高跳・棒高跳では高さが変わった場合にも適用する。

#### 4. 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。
- (2) やりは競技場備え付けのものを準備するが、検査を受けて自己のものを使用してもよい。なお、やりの検査は競技開始時刻の90分～60分前までとし、100m スタート側の倉庫前で行う。以前の検査シールは剥がして持参すること。（日本陸連の検定シールは剥がさない。）

#### 5. 抗議について

抗議は日本陸上競技連盟規則により、所定の手続きをとるものとする。

#### 6. 表彰について

学校対抗の表彰は総合6位、部門（トラック・フィールド）3位まで行う。なお、各種目は6位までの選手を表彰する。成績発表後5分以内に学校ジャージで本部席前に集合すること。出席できない場合は代理人を立てること。

#### 7. その他

- (1) 顧問及び引率責任者(代理)の出席（審判）なき場合は、選手の出場は認めない。なお、競技役員受付を必ず通過すること。
- (2) ウォーミングアップは、補助競技場(サブ・グラウンド)で行うこと。ただし、投てきの練習は、招集完了後、役員の手指示により競技場内で行うので補助競技場での投てき練習は一切行わないこと。
- (3) 応援はスタンドで行い、競技場トラック周辺に降りて行わないこと。また、集団での連呼応援は自粛すること。（特にトラック競技のスタート直前は注意すること。）また、円滑な競技会運営のため、コーチ席並びに報道エリアを、観戦や応援のためのスペースよりも優先して設置する。
- (4) 更衣室の使用は更衣のみとし、使用後はすみやかに退室すること。また、一切の私物を置いてはならない。
- (5) 競技中に起こった怪我については、本部の医務室で応急処置のみ行う。
- (6) スタンド等で使用した場所は、各校で責任をもって清掃し、ゴミはすべて持ち帰ること。
- (7) フィニッシュ後のスタート地点への移動等は、必ず競技場の外側通路を使用すること。通行禁止や使用禁止の表示がある場合は、厳守すること。
- (8) 本部席前は通行を禁止する。許可された者（補助員）以外は通らないこと。また、審判長、総務、アナウンサー前での助言は競技会運営に支障を来すため行わないこと。
- (9) メインスタンドのロイヤルボックス席並びに記者席には立ち入らないこと。
- (10) 各校待機場所はスタンド（メイン、バック、サイド）のみとする。ただし、メインスタンドについてはテントの設置は禁止する。また、旗・横断幕の貼り付けについては中段通路より上とする。
- (11) スタンド等における各校待機場所やロープ等がトイレ前や通路、階段、バリアフリー経路の出入口等をふさぐことのないようにすること。

- (12) 公園内・サブトラックでは、メディシンボール、チューブ等の使用を禁止する。トラック上に競技場備え付けの用具以外のものを設置してはいけない。
- (13) 盗撮行為等を防止するために、各校に撮影許可証が配布されているので、関係者の撮影の際には必ず撮影許可書を着けること。
- (14) 競技場等の入場については、各校の待機場所確保のため、一般開放をする前に各校の代表者を優先して入場させるので、早朝からの場所取りはしないこと。
- (15) 忘れ物等の大会中に拾得した物は10日を目途に処分するので、紛失したものがあれば必ず要項記載の大会担当者まで連絡すること。
- (16) 本大会6位までの入賞者（競歩は5位まで、混成競技・女子三段跳・女子棒高跳・女子ハンマー投は4位まで）は、全国高等学校陸上競技対校選手権大会近畿地区予選会の出場参加資格を得る。近畿地区予選会出場者の決定については、全国大会出場者決定の申し合わせに準ずる。
- (17) 近畿地区予選会の申し込みに関する一切の書類は、第3日目の大会終了後、必要事項を記入して直ちに提出すること。また出場認知書は、令和5年6月8日（木）までに下記へ送付すること。

送付先 〒617-0006 向日市上植野町西大田 京都府立向陽高等学校内 桃井 徹 先生 宛